

かかりつけ老健を目指して

～現在の在宅復帰支援を振り返り、
今後の支援について検討する～

介護老人保健施設 ウイング

発表者：介護支援専門員 太田 孝夫

共同研究者：作業療法士 東 大地

施設紹介

- ・ 東京都府中市
- ・ 単独型の介護老人保健施設
- ・ 開設：平成11年11月
- ・



ベッド数：140床
(うち認知症専門棟40床)
通所リハビリ：定員40名

はじめに

平成26年6月 在宅復帰への取組み開始

平成27年3月 『在宅復帰・在宅療養支援機能加算』を取得

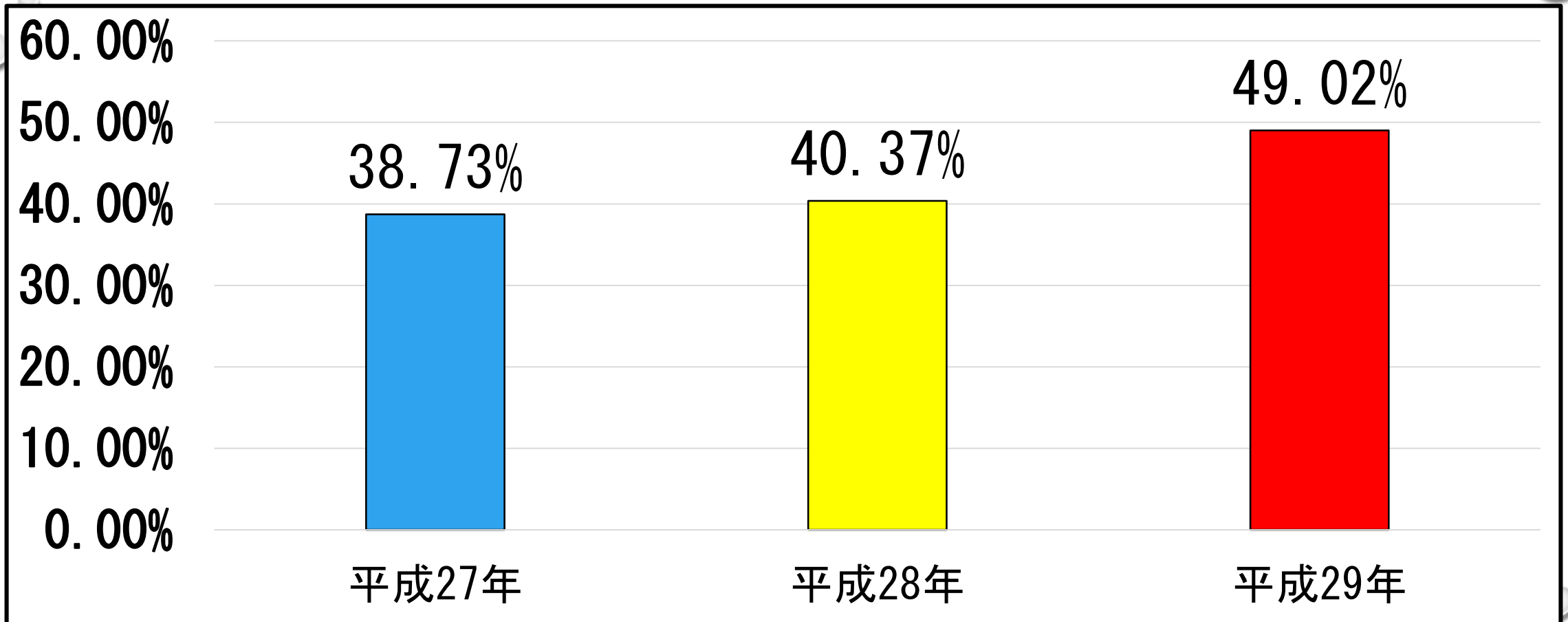
平成30年4月 『加算型（在宅復帰・在宅療養支援機能加算Ⅰ）』を継続

『既存の取組み』＋『新たな取組み』を行っており、
次のステップに向けての奮闘中。

在宅復帰の取組みを行う中で、

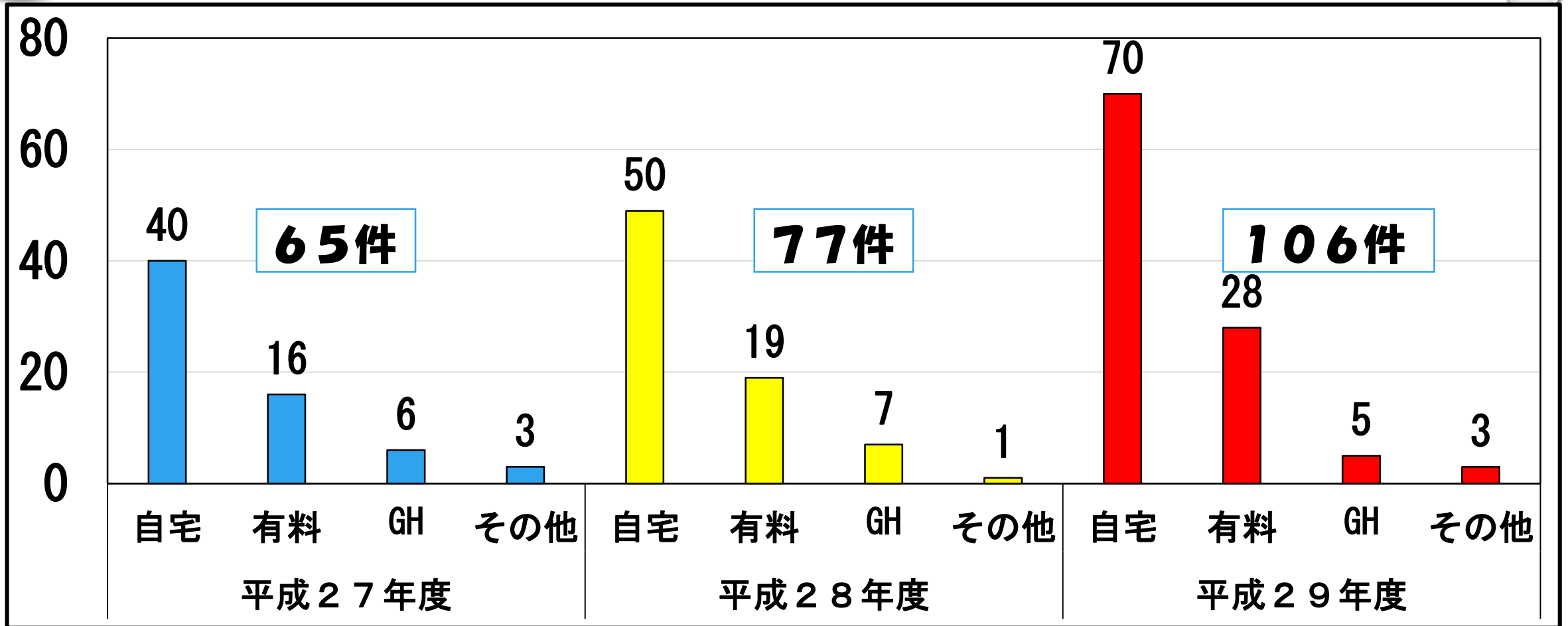
「現状を改めて確認し今後の課題」について検討

在宅復帰率年度別平均



平均在宅復帰率：50%近い数字まで向上
平成30年前半：約46%まで若干低下

在宅復帰退所者内訳



自宅・有料老人ホームへの転所数が増加。

平成30年度前半：自宅44件 平成29年度より早いペース

在宅復帰以外の退所状況

平成28年度

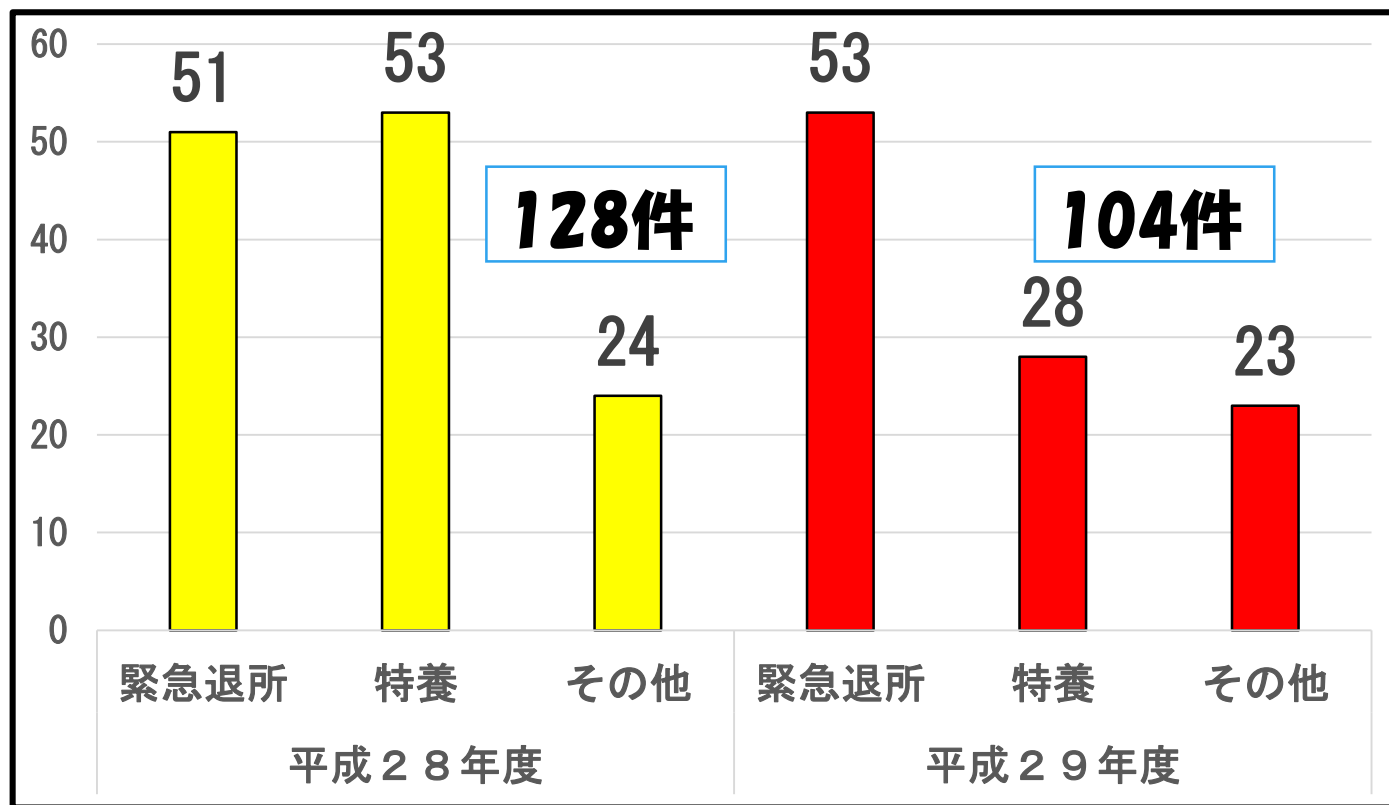
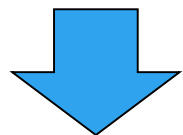
在宅：77件

在宅外：128件

平成29年度

在宅106件 ↑増

在宅外104件 ↓減

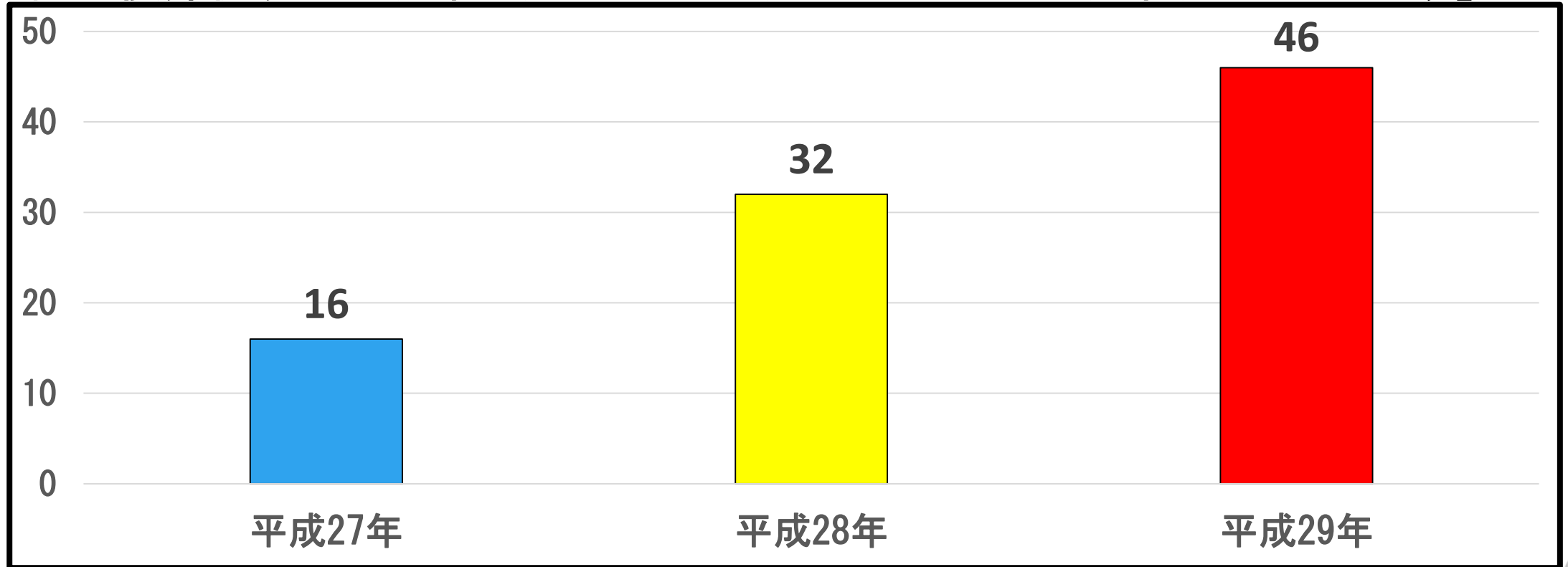


在宅復帰は増加、在宅外は減少したが、緊急退所は減っていない

平成30年前半：緊急34件・特養19件⇒緊急・特養の減少が急務

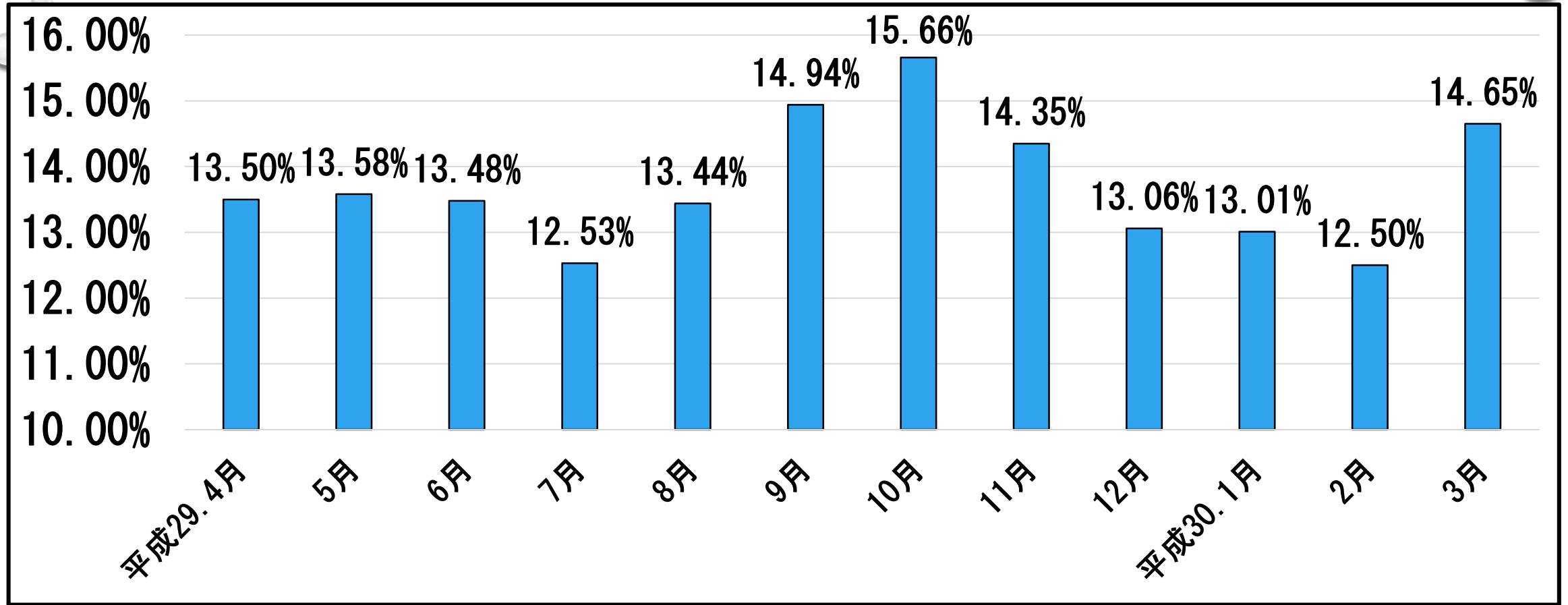
再利用者数

※在宅復帰後、再利用者（リピート利用・サイクル利用者）の「のべ数」



再入所件数の増加が、在宅復帰率拡大にもつながっている
平成30年度前半：31名の再入所があり、前年を上回るペース

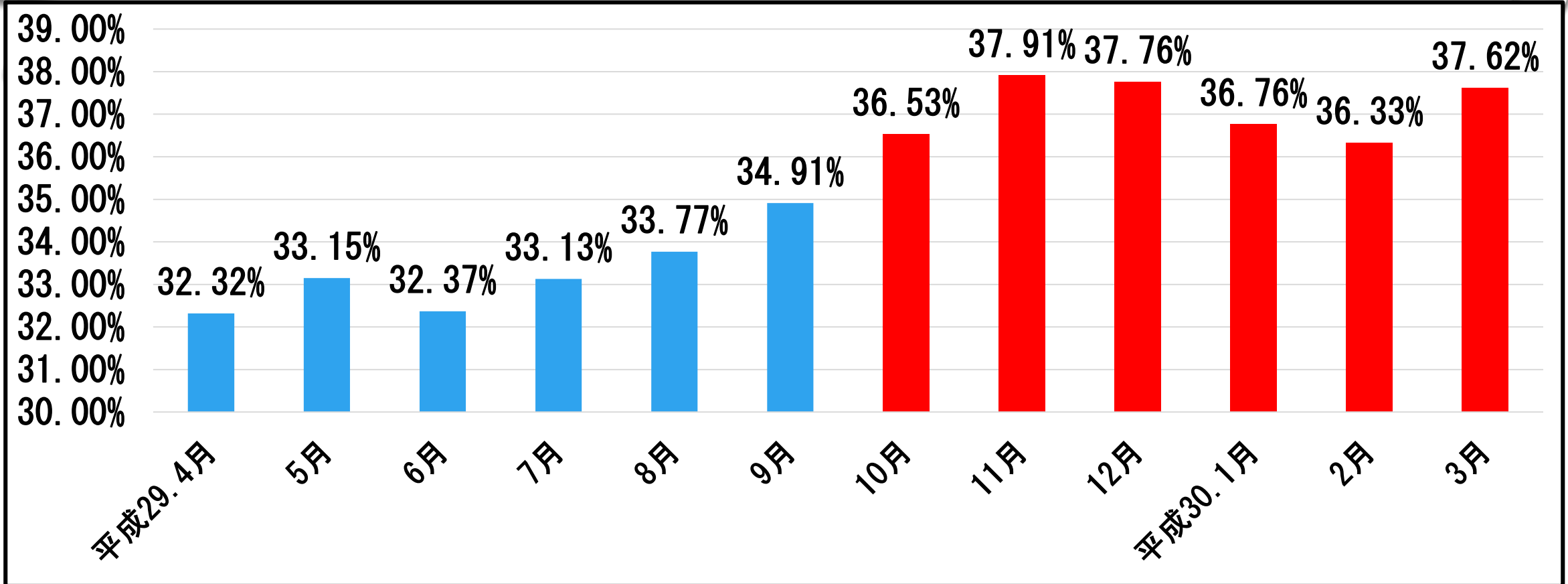
ベッド回転率



平成29年4月～3月まで、10%以上を保っている

平成30年9月現在：13.8% ⇒回転率が高いと入退所業務が多忙

要介護度 4・5割合

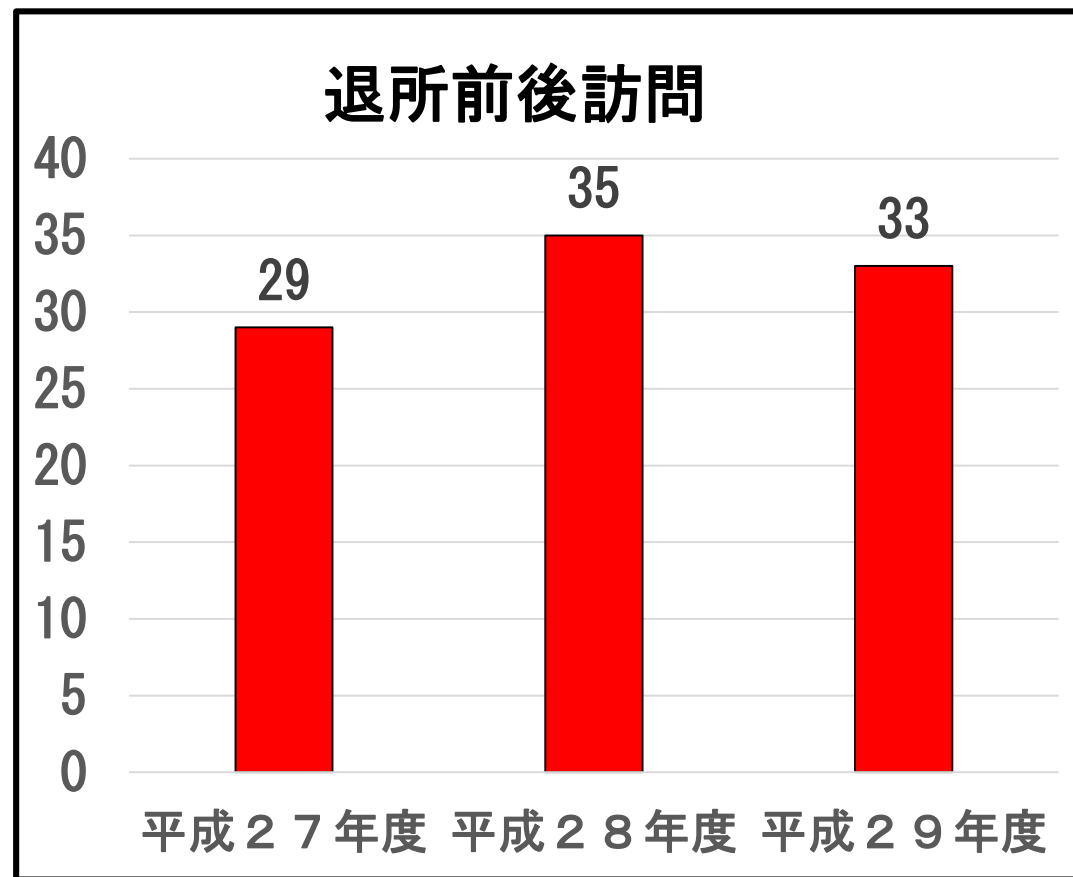
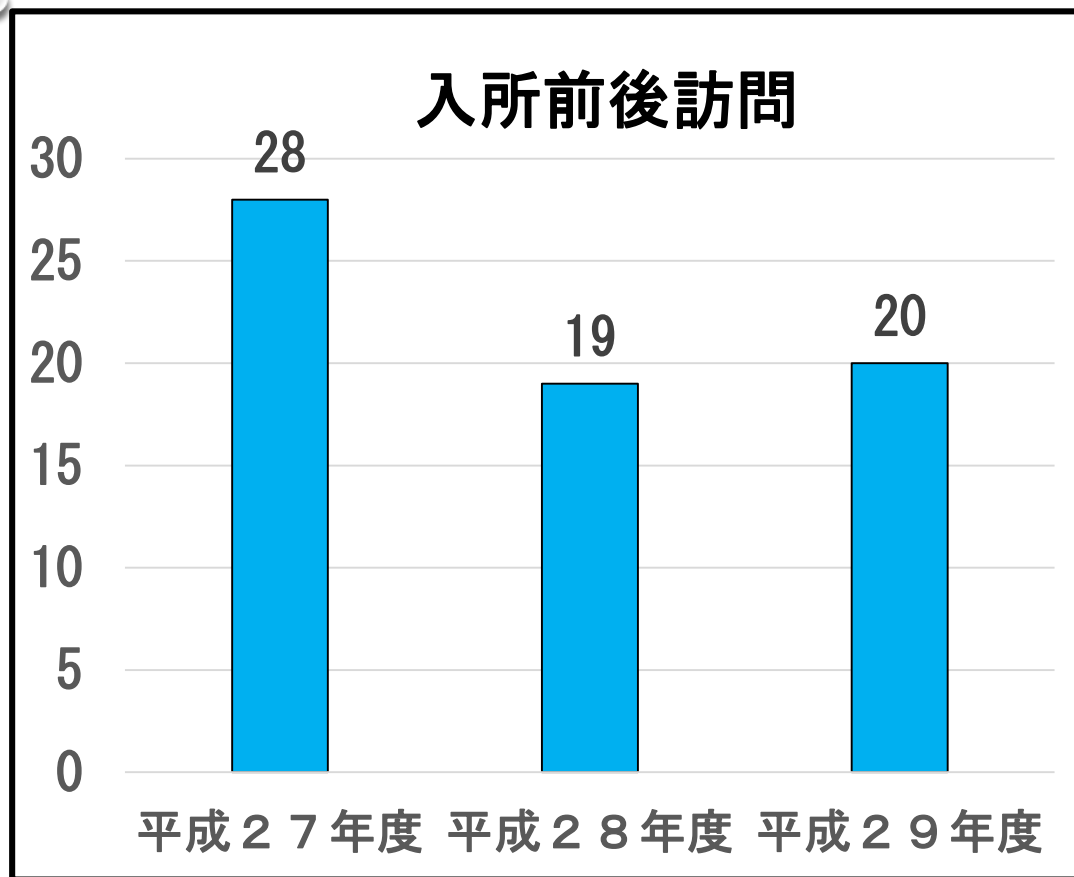


平成29年4月～9月まで「平均介護度2.9」

平成29年10月より**35%以上**となった。「平均要介護3.0」

平成30年9月**現在44%**、「平均介護度3.1」と徐々に**重度化**している

訪問件数



業務増加により、訪問実施や調整を抑えていた状況があった

平成30年前半 入所前後17件 退所前後29件 実施数激増

現状の取り組みと課題

在宅復帰者・復帰率向上にむけて

- R4システム導入、アセスメントの充実、課題の明確化
- 1ヶ月、2か月カンファレンスの実施
- 各フロアでのリハビリの強化
- 訪問業務の充実（リハビリ、介護、相談）
- 在宅復帰に向けての職員指導の促進
- オリジナル冊子「老健の入所活用方法」を用いた営業と、ケアマネへ老健の利用方法の理解とサイクル利用の促進

現状の取り組みと課題

在宅強化型に向けた取り組み

- ①一般棟 2 フロアの機能分化の促進
(在宅復帰者と長期療養者のバランス)
- ②充実したリハビリへの体制作り
- ③医療依存度の高い方の受け入れ
- ④緊急退所の減少、特養退所のコントロール、ターミナルケアの実施
- ⑤業務負担増加に伴う業務削減の検討
- ⑥地域貢献活動へより積極的な取り組み

おわりに

- ひとつひとつ課題を着実に、誠実に取り組んでいくこと
- 利用者のサービスの質向上を目指していくこと



地域包括ケアシステムの目指す

『住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続ける』



目指せ！
地域のかかりつけ老健へ



ご清聴ありがとうございました。